

**城下町・中津には伝統的なお菓子がいっぱい！**  
～「城下町中津お菓子辞典」について～

1 趣旨・目的

中津耶馬溪観光協会では、観光振興は、地域産業のセールス活動という考えで、売る商品を用意し、目的を持った観光振興事業を実施する方針としています。

ハモフェアによる鱧のブランド化推進、今回のお菓子のPR事業、クラフト商品（和傘、染め物、切り絵、焼き物、アロマオイル、木工品など）のPR事業等、城下町中津と耶馬溪育ちのイメージを持つ商品の販売促進を図ることで、地域の総合的イメージ定着の効果を求め、誘客PRと地域消費拡大を相乗的に推進していきます。

また、協会の本分は、協会員のための事業を推進していくことであり、当事業は地域観光事業者の支援事業として位置づけるものです。

2 事業の概要

パンフレット制作：2万部

市内案内所、菓子店、市外パンフレット置き場に配布

参加店舗：立澤進栄堂、利休堂、八屋傳六、福沢本舗、殿畑双葉堂、菓子処いわまる、武蔵屋総本店、桃屋甚兵衛、栗山堂、甘味処禅海茶屋、菓子処徳永、佐伯屋、中津菓子かねい 13店舗（全菓子店呼びかけ）店舗負担金あり

パンフレット内容（伝統的菓子の紹介記事は市内歴史研究家に依頼）

五代中津藩主・奥平昌高公が城下の菓子職人を集め開発した中津ぼうろ（丸ぼうろ）、黒田官兵衛が小田原攻めの際に持ち帰り戦いで負傷した家臣につくらせた「ういろう」、田中信平が中国から伝えた技術を基本に開発された、中津にしかない菓子「けんちん」、これら中津の伝統的なお菓子から新しい商品に至るまで店舗とお菓子を紹介している。

※「城下町・中津」に相応しい商品をPRし、地域内消費の拡大を図るための事業です。

3 今後の展開

ひな祭りなど「城下町中津」に相応しいイベントへの参加など、中津のお菓子の販売促進に繋がる取り組みを促進していく。

■ 問合せ先

中津耶馬溪観光協会 担当：船方

TEL 0979-64-6565